

おめでとうござります!!



# 祝「みやぎSDGsアンバサダー」認定! 「わたしのSDGs活動宣言」Vol.43

食品ロスの内訳は事業系と家庭系の割合がそれぞれ約半数であるため、消費者にもできることがたくさんあると考えます。例えば、商品を買う際は手前取りを心がけ食べられる分だけ購入する、調理時には野菜の皮や葉なども活用しロスの少ない調理方法を実践するなど、小さなことから貢献していきたいと思えます。

先進国では食品ロスが大量に発生している一方で、途上国では飢餓に苦しむ人々が大勢います。食品ロス削減に取り組み無駄



私は現在、卒業研究テーマとして飲食店の食品ロスについて扱っており、以前

「旨い」を全国へ発信する活動をしています。昨年TikTok主催の「みんなで学ぶ気候変動プロジェクト2024」に参加したことを契機にSDGsとは？を考えるようになりまし

SDGs目標11に「住み続けられるまちづくりを」とありますが、振り返ると私は20歳の時に地元消防団へ入団し現在団員歴9年目。「すでに実践できていた!」と思うと驚きました。



私は総フォロワー9万人のグルメインフルエンサーとして、宮城の飲食店さんの

SDGsは、地球環境の保全や誰もが安心して暮らせる社会の実現を目指す国際的な目標であり、日常生活や仕事の中で自分のできることを考え、意識して行動することが求められています。身近な取り組みとしては、手前どりやマイバッグ・マイボトルの持参、通勤時のエコな移動、電気や水

私はいままでSDGsはどこか敷居が高く、とっつきにくいのだと感じていました。「みやぎSDGs塾」に参加し、さまざまな参加者の取り組みをお聞きする中で、大きな活動だけでなく、まずは一人ひとりが関心を持ち、自分自身にできることを実践することが最も重要だと感じました。



私はいままでSDGsはどこか敷居が高く、とっつきにくいのだと感じていました。「みやぎSDGs塾」に参加し、さまざまな参加者の取り組みをお聞きする中で、大きな活動だけでなく、まずは一人ひとりが関心を持ち、自分自身にできることを実践することが最も重要だと感じました。

# みやぎSDGs Farm



## みやぎSDGs Farm

国連が提唱する「SDGs(持続可能な開発目標)」を軸に企業や個人が連携し、より豊かな地域づくりを目指す取り組み「みやぎSDGs Farm」の基幹プログラムです。SDGs活動を推進する人材「みやぎSDGsアンバサダー」を養成するなど、2021年から河北新報社が運営しています。



詳しくはこちらから

賛同企業  
募集中!!

【申し込み・問い合わせ】

河北新報社営業局

TEL. 022-211-1318

☑ koukoku@po.kahoku.co.jp

## SDGs、自分に出来ること。

### 山一地所 白澤峻平さん

節約などがありますが、自分自身でまだできていないことや、やらせてあげることが多くあると感じました。「自分ができることは何か」を常に考え、まずは自分自身が実践し、周りの人たちにも広げていくことを宣言します。会社としてもDX推進により契約書や資料のデータ化を進めており、実現すれば紙資源の削減だけでなく業務効率化や社員の意識向上にもつながります。



## 影響力を社会のために

### 仙台グルメ 橋上翔大さん

私が難しい子に料理の提供を行う取り組みのことです。こうした活動を仙台グルメではPR動画に含めながら情報発信をしています。みやぎSDGs Farmでは新たな出会いと学びの場となりSDGsの理解を深められた他、リコージャパン様への企業訪問、松島蒲鉾本舗様のSDGsへのお取り組みをSNSで紹介させていただき、新たな挑戦をすることができました。



## 飢えも争いもない未来へ

### 宮城大学 食産業学群フードマネジメント学類 尾形心さん

な消費をなくすことは、必要とする人々に届けられる食料を増やし、食の不均衡をなくしていくことにもつながると思います。今年には第二次世界大戦が終戦してから80年という節目の年であるため、当時の生活や戦争の悲惨さについて多くのメディアが取り上げているのを見ました。戦争の悲惨さは理解しつつもどこか自分にはあまり関係のないことのように感じていましたが、実際の映像や当時の再現映像を見て、あらためて戦争の危険性を再認識しました。

